

「スマートライフ推進協創プロジェクト」 平成26年度第1回推進会議の概要について

「スマートライフ推進協創プロジェクト」の平成26年度第1回推進会議（みえスマートライフ推進協議会 第7回企画・運営委員会）を平成26年8月21日（木）に開催しました。

会議に先立って、三重大学のスマートキャンパスを視察しました。

会議の概要は、以下のとおりです。

「スマートライフ推進協創プロジェクト」委員

※敬称略、カッコ書は役職

＜委員長＞

並河 良一（帝京大学経済学部教授 大学院
経済学研究科教授）

＜副委員長＞

坂内 正明（三重大学教授 スマートキャン
パス部門長）

＜委員＞

生駒 芳子（ファッション・ジャーナリスト）

※生駒委員はご欠席

小西 千晶（株式会社東芝 コミュニティ・
ソリューション推進部参事）

坂井 稔（富士通株式会社 三重支店長）

設楽 哲（一般社団法人電子情報技術産業
協会（JEITA）理事）

※設楽委員はご欠席

樋田 直也（本田技研工業株式会社 事業企
画統括部 スマートコミュニ
ティ企画室長）

林 宏行（大和ハウス工業株式会社 本社
環境エネルギー事業部 副事業
部長 本店環境エネルギー事業
部 事業部長）

半田 敬信（三菱化学株式会社 情報電子本
部 OPV 事業推進室プロジェク
ト企画部長）

濱田 康資（百五銀行 取締役 営業渉外部

長）

※濱田委員はご欠席（代理：営業渉外部 地
域貢献課 係長 大河内様）

＜推進会議の進行概要＞

会議の進行概要は以下のとおり

開会 13:30

議題

- (1)三重大学スマートキャンパスの事例研究
- (2)スマートライフ推進協創プロジェクトにおける平成25年度 of 取組概要
- (3)スマートライフ推進協創プロジェクトにおける委員からの意見及び対応状況
- (4)スマートライフ推進協創プロジェクトにおける今後の取組方向

閉会 16:00



（事務局からの説明）

事務局より、スマートライフ推進協創プロジェクトにおける平成25年度 of 取組概要や委員意見の対応状況、今後の取組方向等を説明しました。

（プロジェクト推進についての意見交換）

続いて、並河委員長の進行によりプロジェクトの推進に関する意見交換を行いました。

委員からの主な意見

新エネルギーは、地域貢献という面からも重要であり、必要な事業である。「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」(グリーンニューディール基金)をうまく活用して、地域での一層の新エネルギー導入促進につなげてほしい。

これまで様々なプロジェクトが立ち上がり、形になってきている。この調子で取組をさらに進めてほしい。

東京オリンピック開催に向けて「水素」が注目されている。余剰電力を水素に変えて貯蔵する話なども聞く。すぐにビジネスという話ではないかもしれないが、検討してはどうか。

新エネルギーは、「単に導入する」から「使いこなす」という段階に移ってきていると感じる。

スマートキャンパスの取組においてデマンドの抑制を行うにあたり、最後は「人」が重要になってくるとの話は興味深かった。地域での取組には、やはり地域住民の協力が不可欠だろう。

バイオナノセルロースには様々な特徴があり、これから可能性がある素材だと考えている。企業のニーズ等も踏まえて、今後、研究会で検討してほしい。

大手ゼネコンは、今、ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)に注力している。そうした先行事例を参考に、産業の高付加価値化を目指してほしい。



次回の開催予定

次回の企画・運営委員会については、平成26年度下半期に行う予定です。